

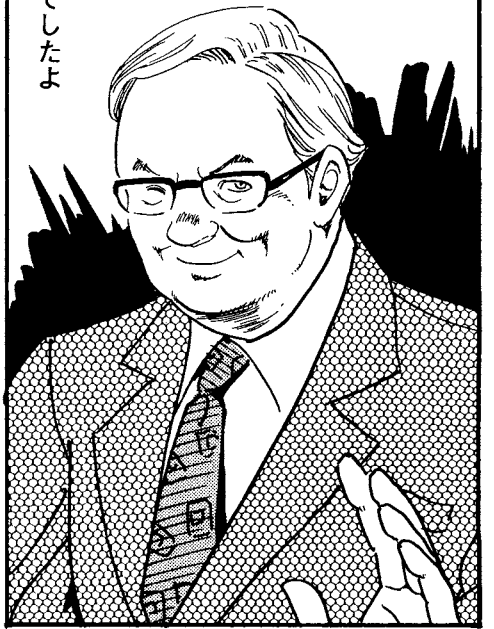
マンガーには
もちろん
仕事上の
失敗も
何度かは
あったが

総じて
順調に
出世して
いった

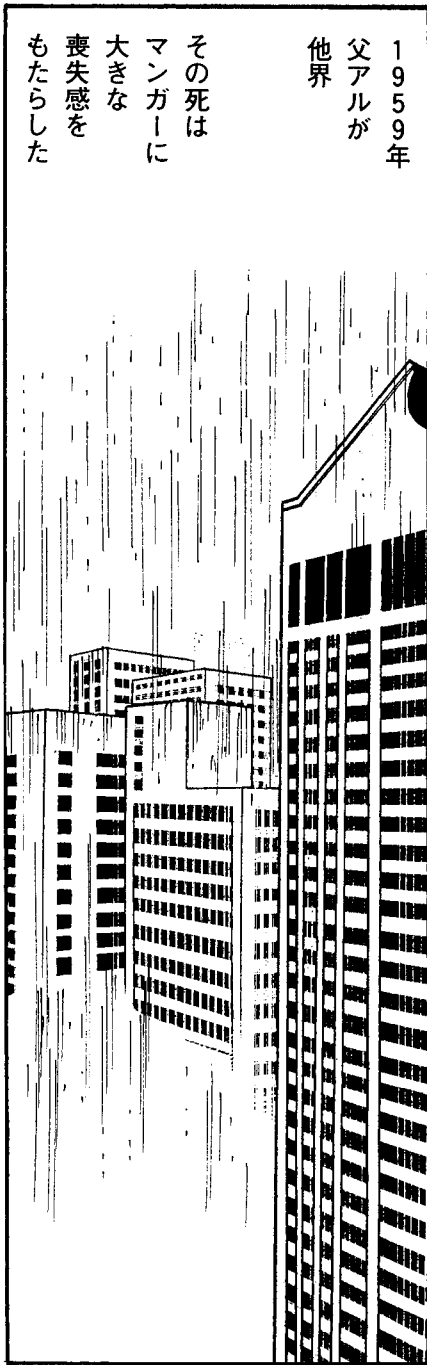
彼はインター
ナショナル・
ハーベスターの
代理店や20世紀
フォックスに
かかわって
いました
常に現実の
問題点を
そのまま放置
できないタイプでしたよ



クライアントの
中には苦手な
タイプもいたけど
そんなとき
父親の
アドバイス
を思い出すんです

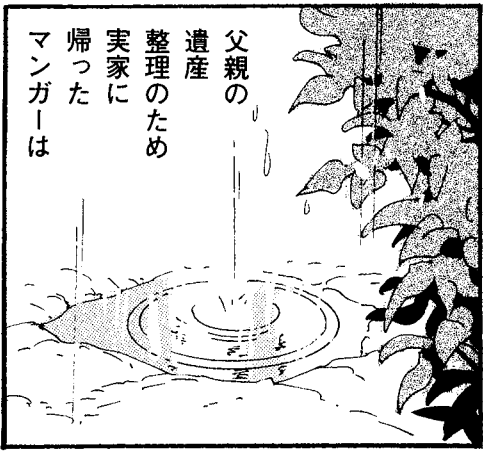


何も問題を抱えていない
人ばかりだったら
弁護士一家は路頭に迷う
だろう
とね
仕事の
上で教訓に
なっていますよ

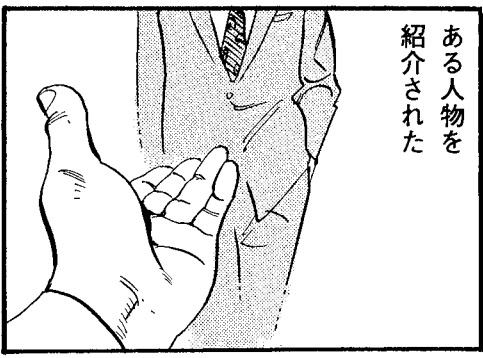


1959年
父アルが
他界

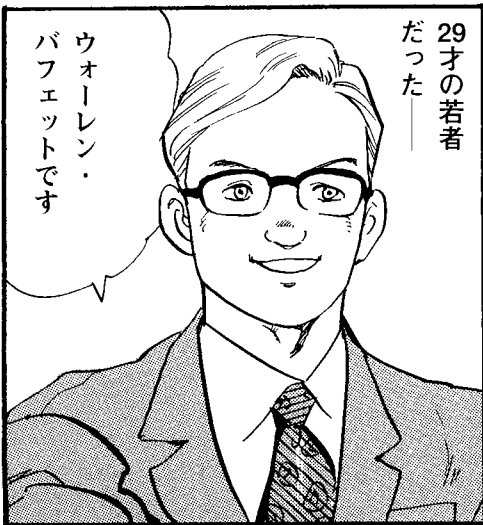
その死は
マンガーに
大きな
喪失感を
もたらした



父親の
遺産
整理のため
実家に
帰った
マンガーは



ある人物を
紹介された



29才の若者
だった

ウォーレン・
バフェットです

